

3 5 御殿山 2 丁目地区地区計画

平成24年3月30日決定

◆地区の概要

名 称	御殿山 2 丁目地区地区計画
位 置	宝塚市御殿山 2 丁目の一部
区 域	計画図表示のとおり
面 積	約 0. 7 h a

◆区域の整備、開発及び保全に関する方針

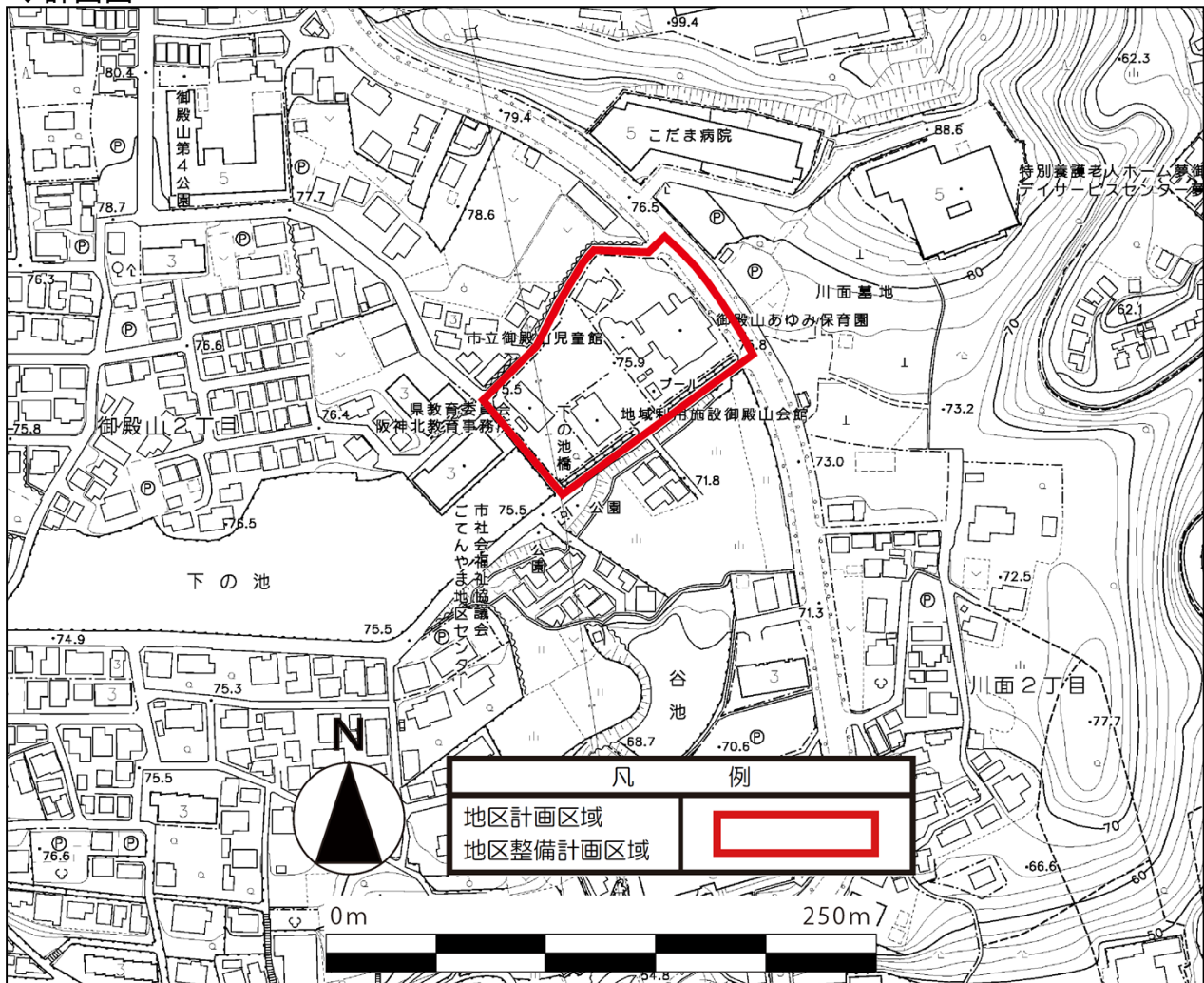
地区計画の目標	当地区は、阪急宝塚線宝塚駅と清荒神駅との中間の北側、長尾山系南側山麓部に位置し、また川面宝塚線に面した交通利便性の高い地区である。また周囲は低層の一戸建住宅で構成される住宅地であり、緑豊かでうるおいのある良好な住環境を有している。 当地区は、教育、福祉などの施設が集積しており、公共公益施設の立地を図る地区としている。 このことから、当計画は、身近な生活圏での公共公益施設を適切に誘導し、周辺地域の住環境との調和を図ることを目標とする。
土地利用の方針	公共公益施設の整備、充実の促進を図り、周辺地域の良好な低層住宅地としての住環境との調和を図りつつ、良好な地域環境の形成を図る。
建築物等の整備の方針	公共公益上必要な機能での土地利用を図り、周辺地域の住環境との調和を図るため、建築物等の用途の制限、建築物の容積率及び建ぺい率の最高限度の制限、建築物の壁面の位置の制限、建築物等の高さの最高限度の制限を行う。また、建築物等の形態又は色彩その他の意匠、道路に面する部分の垣又はさくの構造を生垣等とする制限により、安心して暮らせる良好な地域環境の形成と保全を図る。

◆地区整備計画

地区整備計画を定める区域		計画図表示のとおり
地区整備計画の区域面積		約 0. 7 h a
建築物等に関する事項	建築物等の用途の制限	次に掲げる建築物は、建築してはならない。 (1) マージャン屋、ぱちんこ屋、射的場、勝馬投票券発売所、場外車券売場その他これらに類するもの (2) カラオケボックスその他これに類するもの (3) ボーリング場、スケート場、水泳場、スキー場、ゴルフ練習場及びバッティング練習場 (4) ホテル又は旅館 (5) 自動車教習所 (6) 畜舎で床面積の合計が 1 5 m²を超えるもの
	建築物の容積率の最高限度	1 0 / 1 0
	建築物の建ぺい率の最高限度	5 / 1 0

建築物の壁面の位置の制限	1 建築物の外壁又はこれに代わる柱（以下「外壁等」という。）の面から敷地境界線までの距離は、1 m以上でなければならない。 2 前項に規定する距離に満たない距離にある建築物又は建築物の部分（以下「建築物等」という。）が次の各号の一に該当する場合は、同項の規定は適用しない。 （1） 外壁等の中心線の長さの合計が3 m以下であるもの （2） 物置その他これに類する用途に供し、軒の高さが2. 3 m以下で、かつ、床面積の合計が5 m²以内であるもの
建築物等の高さの最高限度	1 地盤面から建築物の高さの最高限度は、10 mとする。 2 建築物の各部分の高さは、当該部分から前面道路の反対側の境界線又は隣地境界線までの真北方向の水平距離に0. 6を乗じて得たものに5 mを加えたもの以下としなければならない。
建築物等の形態又は色彩その他の意匠の制限	建築物の屋根及び外壁の色彩及び意匠は、周辺環境と調和した落ち着いたものとする。
垣又はさくの構造の制限	道路に面して設ける垣又はさくの構造は、生垣、植栽を併設したへい又はフェンス等周辺環境と調和したものとする。

◆計画図



都市計画課

電話 0797-77-2088

URL <http://www.city.takarazuka.hyogo.jp>

E-mail m-takarazuka0073@city.takarazuka.lg.jp



山麓部市街地地域の景観形成基準

景観形成基準【建築物の建築等】

屋根及び外壁の色彩

- 1 外壁、屋根など外観に使用する明度・彩度は、下表マンセル表色系による数値の範囲内とする。（無着色の木材、石材、漆喰、レンガ、ガラスなどを使用する部分及び各壁面の見付面積の4分の1以下の部分は除く）

	屋 根		外 壁	
色 相	明度 (以下)	彩度 (以下)	明度	彩度 (以下)
N	8 程度		3～8.5	
R	6 程度	4		4 ^(※1)
YR		6		4 ^(※1)
Y		4		4
その他		2		2

(※1) 第1種低層住居専用地域以外の地域は6まで緩和する

- 2 外壁色の明度は、できる限り6～8とする。
大きな壁面を有する建築物の外壁色の明度は、6～8を遵守する。

届出に係る取り扱いについて（御殿山2丁目地区）

※基本的な取り扱いを示しており、敷地状況等によってはこの限りではありません。

下記ケースに該当しない場合は担当者と協議を行ってください。

なお、宝塚市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例に規定されている事項については、建築基準法上の取り扱いが適用されます。

建築物の色彩に係る規制

【対象について】

- 対象は、建築基準法第2条第1項に規定する建築物における外壁部分及び屋根部分の全てです。

※ カーポートや駐輪場、物置等の小規模な建築物にも基準が適用されます。

- 以下の部分についても基準の対象となりますので、マンセル値をご確認ください。

「外壁部分」に含まれるもの（一例）

- ・バルコニー腰壁
- ・ルーバー
- ・車庫のシャッター
- ・カーポートや駐輪場の柱

「屋根部分」に含まれるもの（一例）

- ・陸屋根
- ・太陽光パネル
- ・カーポートや駐輪場の屋根

【数値基準について】

- 屋根及び外壁の色彩における「周辺環境と調和した落ち着いたもの」とは、景観計画における景観形成基準（【別紙】参照）に準ずるものとします。
- 立面図又はパース等に外壁部分及び屋根部分のマンセル値を全て記載してください。
- 同一建築物において複数の色彩を採用する場合については、立面図等への着色又はハッチ等の記載によって、各色彩の着色範囲を明示してください。

【色彩基準の適用除外】

- 木材やガラス、漆喰等の自然素材については、無着色のもののみ適用除外となります。
- 木調のプリントは適用除外となりませんので、マンセル値をご確認ください。
- 見付面積の1/4以内となる部分の算定について
 - ・見付面積の算定は合算ではなく、各壁面それぞれで1/4以内となるようにしてください。
 - ・ルーバー部分の見付面積は面として算定し、部材間についてもルーバーがあるものと見なします。

【大きな壁面を有する建築物について】

- 「大きな壁面を有する建築物」とは、長辺約31m・短辺約10mを超えるものを目安とします。

道路に面して設ける垣又はさくに係る規制

【植栽を併設したへい又はフェンス等について】

- 「植栽を併設」とは、道路に面して中木（植栽時2m以上）を2本以上植栽することとしています。
- 樹木等の前面に透過性のない塀などがある場合は、樹木等の高さの約1/4以上が道路から視認できるもののみを算定対象とします。
- 計画図には、樹木の種別（高木・中木等）又は高さを明記してください。